

## 共同参画への取組

### ●野口佳子さん（三重県伊勢市）



#### ①取組の経緯

地元の JA 女性部、生活改善研究グループなどで役員を歴任。安全安心農産物を提供する市街地での産直の仕組みづくりに尽力し、地元での信頼は非常に厚く、JA 伊勢で初めて女性正組合員になるなど女性の地位向上への意識も非常に高い。平成 9 年に三重県の知事認定である農村女性アドバイザーに認定を受け、研修等により男女共同参画、家族経営協定について啓発され地域での普及を始める。あらゆる機会を捉えて、女性達へ声かけするだけでなく、行政、農業委員会、JA またその幹部へ上申をはかり、講演やセミナーの講師など依頼されれば都合のつく限り、普及活動を行っています。また、自身も夫婦での役割分担について話し合い、農業経営における男女共同参画をいち早く実践しています。

#### ②推進方針

①女性の意見を反映できる社会づくりを進める

②家の中から共同参画を進める

男性ばかりで物事を決めているところを見た時、「ここに女性が入っていたらもうちょっと違った方向性があるのになあ」と感じ、女性も男性と対等に意見交換でき、女性の意見を反映できる社会づくりをしていかなければいけない。また、外にばかり目を向けて共同参画を進めていても「家の中がガタガタして家の中で何もできないのではいけない」という思いから家族経営協定を薦めています。

③何事も、まず自分から！

自らがまず行動し、確かめて、うまくいったら皆さんに薦め取りくんでもらっています。自分が嫌だとかやめたいと思っても、次に続く女性のため、と思い率先して取り組まれています。それは、JA 伊勢で初の女性正組合員、初の女性総代、初の伊勢市女性農業委員という行動力にあらわれています。また、平成 14 年には伊勢市ベストパートナー賞を受賞しました。

#### ③今後、農業経営に参画していこうと考えている人へのメッセージ

女性も、これから社会生活をしていく中で、男性と肩を並べて何事も取り組めるように、学習をして、男女が共同参画できるようにしてもらいたい。そして、家の中でも共同参画できるよう、家族経営協定を結んでももらいたい。家庭だけでなく、地域の中でも男性と共に歩んでいける社会になって欲しいと思います。

